

学校だより



いなみっ子

令和7年7月22日

南砺市立井波小学校

7月号 第369号

井波小学校 HP アドレス

<https://inami-e.nanto.ed.jp/>

題字 3年 澤田 佳歩さん

(題字は昨年度県書き初め大会出場児童)

やさしさを知っているよ

校長 中町 寿子

朝、いつも立っているところに、2匹のナメクジがいました。1匹は、踏まれてつぶれていました。もう1匹は、ブロックのすきまにそっといました。ほとんどの子供たちは気付かずに、通り過ぎていきました。しばらくして、朝の準備を済ませた4年生の子供が友達とやってきて、ナメクジに気付きました。何の迷いもなく、ナメクジをそっとつかむと、傍の花壇に逃がしてあげていました。

別の朝、大きな雨が降っている中、大きなカタツムリを見付けました。気付いた子供たちは、「わあ、大きい」と声を上げながら通っていきました。先日ナメクジを逃がしてあげた子供がやってきました。ブロック塀の下の方に動き出していたカタツムリを見て、ひょいと殻をつまみ塀の上に乗せました。それを見ていた子供たちからは、「うわ、気持ち悪い」という声も聞かれました。でも、カタツムリは、気持ちよさそうに思いっきりツノを伸ばして動き出しました。

子供の頃、蛇もカエルも、もちろんカタツムリでも何でも掴まえたり触ったりしていたことを思い出しました。いつ頃からか少し怖いと思うようになってしまいましたが、この子供が低学年グラウンドでもいつも草むらを走り回り、いろいろな生き物と触れ合っていたことを思い出しました。生き物に対して、戸惑う様子もなく、そして慈しみの心をもって接している姿がとてもまぶしく感じました。

私たちは、いつもやさしくありたいと思うけれど、やさしくなれない時があります。やさしくない自分を責める時もあります。自分らしくやさしさを表現することは、意外に難しいのかもしれない。

子供たちの中には、学校生活の中でうまく自分らしさを表現できずに、ちぐはぐに見えるような行動をとることがあります。そんな時、「あなたのやさしさを知っているよ」、「そのままでいいんだよ」、このような言葉を届けたいと考えます。子供たちの行動の中に隠れていることがある「その子らしさ」や「やさしさ」は、肯定的に捉えようとする事で見えてくるのかなと思います。「肯定的に捉えること」の大切さは、教職員にもしっかり伝えてまいります。



《校庭のカタツムリ》

8～9月の主な行事予定

8月13日(水)～17日(日) 学校閉庁日

24日(日)～25日(月) 課題提出日

24日(日) 父母と教師の会 親子清掃活動

26日(火) 始業式 給食開始 給食後下校

27日(水)～9月2日(火) まで

5限後下校

9月 1日(月) 集団登校

5日(金) 研修会のため13:15下校

2年1組のみ14:20下校

11日(木) 市小学校芸術鑑賞会(4年)

12日(金) 避難訓練(地震)

16日(火) 研修会のため13:15下校

6年1組のみ14:50下校

30日(火) 学習発表会児童向け

ステージ発表



たくましく生きていく子供に

特別支援教育コーディネーター 曲師 ひとみ

多くの活動に意欲的に取り組む子供もいる一方で、学校生活や学習に意欲がもてない子供も少なくありません。やる気がなかったり怠けたりしているように見えても、実は、前向きになれない困難さが隠れている場合があります。例えば、集中して話を聞くことが難しいため、何をしてもよいのか分からない。文章をすらすら読めないために問題に答えられない。漢字を覚えたり書いたりすることがとても苦手で、書く活動になるとみんなについていけない。話合いの活動では自分が話す番が来るまで待っていることが苦手、自分の気持ちを抑えられずイライラしやすいなど、意欲がもてない原因は様々です。

そんな子供たちの手助けをする学びの場の一つとして『通級指導教室』があります。週に1時間程度、読むこと、書くこと、計算すること、自分の行動を振り返ること、注意力を高めることなど、一人一人の困難の様子や要因に応じた自立活動を行っています。落ち着いた雰囲気の中で先生に見守られ、子供に合わせたペースで取り組むことで、「ぼくもできた」という思いが生まれることを期待しています。

学校生活では、簡単にはできないことやうまくいかないことがたくさんあります。そんな気持ちを自分でなんとか消化し、しばらくは落ち込んでも、立ち直ってまた挑戦するたくましさは、生きていく基礎となる力です。規則正しい生活はもちろんですが、家庭での励ましや失敗しても受け止めてもらえる安心感が、学校生活でのがんばりにはなくてはならないものだと感じます。

どの子供もみんな「分かるようになりたい」「自分らしく自信をもって生活したい」という思いをもっています。「分かった」「できた」「がんばれた」という喜びを感じながらたくましく成長することを願っています。



2年 町探検

2学年 古瀬 翔太郎

6月、生活科の学習の一環として、子供たちは八日町通り周辺の探検に出かけました。松屋、よしむら瑞泉寺前店、常永寺、くろねこ3、tOOT、井波木彫工芸館の中から、子供たちが自分で行きたい場所を一つ選び、瑞泉寺と併せて訪問しました。当日は、子供たちが自分たちで挨拶をしたり、お店や施設の方に質問をしたりと、自ら地域の方に関わる姿がたくさん見られました。

探検先では、地域の皆さんが温かく迎えてくださり子供たちの質問に一つ一つ丁寧に答えていただきました。

この体験を通して、子供たちは地域の魅力や人との関わり大切さを感じることができたようです。



〈tOOTにて〉

6年 世界の文化体験2025 韓国音楽

6学年主任 上野 琢磨

韓国を代表する打楽器ユニット「ソナギプロジェクト」から講師の方に来ていただき韓国の伝統音楽を体験しました。「チャンゴ」「プク」「ケンガリ」の3つの楽器を実際に演奏しました。子供たちは大きな音に驚きながらも、リズムに乗りながら上手に楽器を演奏しました。



〈楽器の演奏に挑戦する児童〉